



Speed Challenge Quality

小野工業株式会社

# ちよつとひといき



06号  
2015.9月発行

## 村上 社長の寝言

お盆休みは暑かったたので、子供たちだけで帰省させ、家内と映画を見ました。今回は「雪の轍」というトルコ映画と、「人生スイッチ」というアルゼンチン映画を見ました。「雪の轍」は二〇一四年カンヌ国際映画祭のパルムドールということ、ちよつと敷居が高いかなと思いましたが、予想以上に難解で、三時間二十分という時間もあってかなり疲れました。カッパドキアの古いホテルのオーナーである主人公と妻や妹、友人との人間関係が、閉塞感の中で鬱屈している様子をほとんど会話のみで表現しています。「良心」「倫理」「自尊心」がキーワードですが、シエークスピアの引用など、体調が万全でなければ居眠りすること間違いなしです。「人生スイッチ」はアルゼンチンの映画賞を総なめにし、アカデミー賞の外国語映画賞にノミネートされた映画です。映画の紹介を見て、ブラックコメディかと思いましたが、見てみるととにかく内容が過激で、コメディともいえないブラックな映画でした。いくつかの話から構成されたオムニバスですが、とにかく「人間怒ってもあそこまでやったらあかん」という内容です。どちらもお勧めできませんが、もし見たら感想を聞かせてください。

## 小野工業。パッケージ製造部

今回は小野工業では一番新しい部署となるパッケージ製造部のご紹介です。

製造しているのは平巻き丸容器が主流でしたが、近年の貼り箱に対する需要が多くなってきたため、パッケージ工場の隣に「自動貼り箱機」のライン設備を整えました。最近では大手菓子メーカーの貼り箱を製造し着々と実績を積み上げて頂いております。今後も貼り箱製造に対応出来るライン設備を整え、より多くのお客様のご要望にお応え出来るように準備しておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

また、小野工業では中国(上海)に独資の工場と貿易会社を有しているため、日本の工場と中国工場の連携によって、より多くの商品を製造出来るよう日々努めております。



▲色んな貼り箱も得意です



▲パッケージ工場内の作業風景と製缶機



▲パッケージ工場外観



▲小山主幹(左)と事務の田中さん



▲パッケージ工場外観

## 日本煎茶の祖 永谷宗円

宇治田原には永谷宗円の生家があります。約二七〇年前に色香味のすべてにおいて優れた日本煎茶を考案し、その製法は広く日本に広まりました。ちなみに、永谷宗円の子孫がつくった会社は、今ではみんなが知っている有名なお茶漬「永谷園」なんです。直系の子孫となる方は茶問屋として今も活躍されています。

茶宗神社と生家は自然に囲まれた場所です。暑熱しいこの時期でもかなり涼しかったです。休日には茶香服(利き茶)が楽しめるのも魅力のひとつ。ぜひ一度行ってみてください。



▲緑に囲まれた素敵な空間です



▲昼休憩中に食事が終われるように、とてもスピーディーに食事を運んでいただきました。(シェフお勧めお手軽ランチ¥1500) 周りの景色や部屋の雰囲気を楽しみながら、ゆっくりと食事を頂くことが出来る「隠れ家的」な落ち着いたレストランです。



ちよつと紹介  
手づくり洋食の店  
リンデンバウム  
◎宇治田原町湯屋谷上西谷1番地  
◎営業時間 ランチ11:00~15:00 シェフの三浦さん  
ディナー17:00~21:00 ※ディナーは完全予約制  
《定休日:火曜日》◎TEL 0774-88-2647

## 《今月の人》 ご紹介コーナー



八幡工場フィルム加工部・課長  
今村健一(辰年:A型)

## ちよつとひといき豆知識

今回は「日本煎茶の祖 永谷宗円」をご紹介したのに関連して「お茶に合うお菓子」をご紹介します。

◎ようかん  
濃厚な甘さの練りようかんには、香り高く、上質な渋みとコクの煎茶、抹茶、抹茶との組合せがお勧め。

◎もなか  
香ばしい皮の中に餡を挟んだもなかには、上品な甘みとコクを持つ抹茶入り玄米茶、抹茶、煎茶がお勧め。

◎どらやき  
焼いた生地を餡を挟んだどらやきは、香ばしさと強い甘みがあるのでやや濃く、高温で淹れた深蒸し煎茶、釜炒り茶、玄米茶がお勧め。

こうやって見ても「煎茶」がどのお菓子にも相性が良い事がわかりますね。永谷宗円さんのおかげですね。



9月の提案箱 "市松-ICHIMATSU-"  
正方形の箱が二つと穴が二つ。箱を重ねれば、まさに市松模様の箱の群れが出来上がります。

一編集後記「ちよつとひといき」を創刊して早くも6号！半年が経ちました。はじめは不安もいっぱいでしたが「見ましたよ」という皆さんのあたたかい声に支えられ、これからもパワー全開で頑張ります！(辻井)